



王一だより

令和6年10月号
北区立王子第一小学校
校長 岡本直美

教育目標 **な**仲良く助け合う子 **か**身体をきたえ元気な子 **よ**よく考え最後までやりぬく子 **こ**親切で礼儀正しい子

持続可能な社会の創り手となるために必要な力とは

校長 岡本直美

「SDGs（持続可能な開発目標）」という言葉が、社会全体に定着してきたように感じます。SDGsとは、貧困、不平等・格差、紛争、気候変動による影響など、世界の様々な問題を解決し、全ての人たちにとってよりよい世界をつくるために設定された世界共通の17の目標です。世界各国は、この17の目標を、2016年から2030年までに達成することを目指して取り組みを進めています。

また、学習指導要領の前文には「持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」と明記されており、ESDが基盤となる教育理念が組み込まれています。

ESDとは、持続可能な社会の創り手を育成するための教育です。それらを踏まえて、本校では、「課題を自分事として捉え、すすんで解決しようとする児童の育成～SDGs達成を目指し、ESDを踏まえた授業づくりを通して～」をテーマとし校内研究に取り組んでいます。

本研究では「SDGsとは」と大上段に構えるのではなく、子供の発達段階に応じて、日常の教科学習や学校行事の中で、将来につながる問題意識や課題解決力を育てていくことこそが重要だと考えています。

具体的には「今の学習や活動の中から、課題だと思うことや詳しくなりたいことを見つけ、様々な方法で解決を図ろうとし、さらに調べてみよう！深めていこう！生活に生かしていこう！」とする力が身に付くように授業実践や研究を進めています。研究を通して、子供たちにはこれからの予測困難な時代を生き抜いていくため、一人一人が自分たちにできることを考え、自分たちにできることを一つ一つ行動していってほしいと願っています。

【王一小ホームページ】

<https://www.city.kita-tokyo.jp/gakkoshien/kosodate/shogakko/gakkojoho/kuritsu/oji-i1/index.html>



3年 社会科 研究授業の様子

1学期 終業式を迎えるに当たって

10月11日（金）令和6年度 1学期終業式を迎えることができます。1学期を振り返ってみると、3年遠足、5年岩井自然体験教室、ひかりオリンピック（運動会）、5組遠足、水泳学習、6年社会科見学、6年日光高原学園、4年岩井移動教室など、子供の成長に欠かせない様々な体験や活動を実施することができました。そして何より、子供たちが笑顔で元気に学校生活を送ることができました。保護者や地域の皆様に温かく支えていただいたおかげです。感謝申し上げます。これからも、教職員一同、安全・安心を確保して、子供たちに夢を育むことのできる学びの充実を図ってまいります。

さて、1学期終業式の日、担任より子供たち一人一人に、通知表「あゆみ」をお渡しします。「あゆみ」には、子供たちの日々の「頑張り」が詰まっています。「あゆみ」には、子供の頑張りや担任の思いが凝縮されています。

ぜひ、お子さんと一緒にご覧いただき、「あゆみ」の各欄に書かれている日々の学習の様子に即して、お子さんを認め、励ましていただき、子供たちが一番嬉しい、保護者の方からの温かな「よく頑張ったね」の一言をかけていただけましたら幸いです。

そして、「2学期の学習や行動に向け、どんなところを頑張ってみようか」と一緒に考えていただけると、うれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、「あゆみ」については、10月5日（土）の保護者会で、担任よりお話をさせていただきます。

2学期には、音楽会があります。詳細については、今後配布するお便りをご覧ください。2学期も、落ち着いて学習や活動に取り組み、心身ともに成長できる学期としていきます。